



体験搭乗、装備品見学等を実施

自衛隊群馬地方協力本部（本部長：防衛事務官 井ノ口哲也）は、8月29日（土）相馬原駐屯地及び相馬原飛行場において募集対象者等51名に對して体験搭乗、装備品見学、体験喫食を実施した。実施にあたっては感染拡大防止対策（マスク着用、消毒等）に万全を期するとともに、ソーシャルディスタンスを保ちながら実施した。

当日は晴天に恵まれた中で参加者は、第12ヘリコプター隊において、普段は飛行している姿しか見た事がないCH-47ヘリコプターを間近に見学することで、その大きさに驚きの表情を見せながら体験搭乗に臨んでいた。

体験搭乗終了後は、第12偵察隊、第12通信隊及び第12高射特科中隊による装備品を見学し、興味深く説明を聞いていた。また参加していた女子学生は、装備品の説明をしていた女性自衛官に、自衛隊の訓練や体力面についても積極的に質問する姿が見られた。

装備品見学終了後は、相馬原駐屯地隊員食堂において体験喫食を実施し、栄養バランスを考えたメニューに参加者も大喜びであった。

群馬地方協力本部は、今後も効果的な募集広報により自衛隊を幅広くPRし、募集目標の達成に尽力していく。



搭乗開始の様子



ヘリコプター内の様子



第12偵察隊の説明を聞く参加者



第12高射特科中隊の説明を聞く参加者



戦車の前で記念撮影



第12通信隊の説明を聞く参加者



駐屯地のお昼を体験喫食